

令和7年度 農業施策を西脇知事に提案

地域計画の実現、農人材の育成、持続可能な農業・農村づくりの支援などを要望

京都府農業会議(栗山正隆会長)は、10月1日、「令和7年度京都府農業施策及び予算に関する提案」を提出し、西脇隆俊知事、鈴木一弥副知事と意見交換した。

提案では、食料・農業として、①地域計画の実現、②農材基本法に基づく農業者の育成、③業構造転換に必要な施策、④持続可能な農業・農村づくりの支援、⑤農業者が実施を望む施策⑥各地域の課題に対する支援の5項目にまとめて提案した。

特に、地域計画の実現支援では、農業委員会が地域リーダーを協力を定期開催する予算や農地中間管理事業の市町村委託費の増額を要望。また、農人材の育成では、新規就農者の定着に向けて関係機関による伴走支援体制の強化などを求めた。

さらに、持続可能な農業・農村づくりでは、後継者不足や経営悪化に悩む集落営農組織を支えるため、普及センターに担当職員を配置することも求めた。

討することや、有害鳥獣による農作物被害の減少につながる対策の強化なども求めた。

西脇知事は、農業委員会の活動や農地中間管理機構の事務に必要な予算を国に要望していく考えを示すとともに、「京都府として一人一人の新規就農者・移住希望者に寄り添った伴走支援や、農外企業と連携した人材育成ネットワークの強化に取り組みたい」などと回答し、農業会議の提案を施策に反映する考えを示した。



西脇知事(左)に提案書を渡す栗山会長

京都府農業会議(栗山正隆会長)は、10月1日、「令和7年度京都府農業施策及び予算に関する提案」を提出し、西脇隆俊知事、鈴木一弥副知事と意見交換した。



的に向けて電動エアガンの射撃練習をする参加者

きょうと女性農業委員・推進委員の会



きょうと女性農業委員・推進委員の会(山下明子会長、会員62人)は、各ブロック役員が中心となり、会員からの要望に

各ブロックで「女性委員研修交流会」を開催

宇治・綴喜・南丹ブロック研修交流会の参加者(三重県多気町VISION、7月11日)

ツクの研修交流会は、7月11日、三重県多気町のVISIONで開催し、農産物の直売に取り組み女性委員など14人が参加。先進的なマルシェやオーガニックレストランの運営方法について学んだ。

今後、中丹ブロックでは、11月29日に府立農業大学校の見学や農大生の意見交換を計画。他のブロックでも、役員を中心に研修企画の検討を進めている。

電動エアガンでサル撃退

井手町

研修会と射撃練習に29人参加

井手町で「サル対策に係る夏季研修会」が8月26日に開かれ、サル追



的に向けて電動エアガンの射撃練習をする参加者

払い活動に従事する町内の農業者など29人が参加。サルの特性やサル被害の現状と対策について学び、地域での活動について話し合った。

当日は、電動エアガンを用いたサル追い払い方法の講習も行われ、参加者は野外で射撃練習に取り組んだ。

町全体でサルの追い払い活動を推進する井手町では、今年から新たに12人が参加。現在は、52人の登録メンバーが活動に従事している。

今回初めて射撃練習に参加した農業者は「サルを寄せ付けない地域づくりに力を入れた」と今後の意気込みを語った。(井手町農業委員会)

パソコン農業簿記講座の受講者を募集!

パソコンによる複式簿記の基本を理解し、日々の経営管理や青色申告に役立つ「農業簿記講座」が11月に府内2会場(福知山市・京都市)で開催される。京都府農業会議と京都府農業共済組合が受講者を募集している。

基礎編では、税理士の講義で複式簿記の基本と仕訳や決算の実務について学ぶ。実践編では、パソコンによる簿記帳や青色申告の方法についてマスターする。

▼北部会場(中丹勤労者福祉会館)基礎編11月11日(月)、実践編11月25日(月)
▼南部会場(京都パルスプラザ)基礎編11月14日(木)、実践編11月28日(木)



昨年も参加者に好評だった農業簿記講座

定員は各30人で、午前10時30分～午後4時の日程で開催される。参加費は無料だが、実践編の受講にはテキスト『はじめてのパソコン農業簿記』(3300円、当日購入可能)が必要となる。詳細は、府農業会議のホームページ、または、☎075・417・6847まで。



女性委員が「つないで発信」

地域とごもたちの食を支える京田辺市の女性農業委員(3人)の取り組みを紹介します。

地場産野菜の消費拡大に貢献

別栽培米や野菜を使うため、直売所との連携強化に力を入れています。

村瀬梓委員は地元ママさんたちの活動団体「こどもごほん」の代表を務め、市内で有機栽培に取り組み農業者の野菜を学校給食につなぐ活動や食育・農業体験に取り組みしています。

川端美恵委員は農業委員会(より(年3回発行)に「京田辺を味わうレシピ」を連載。市内全世帯に配布され、非農家の読者から「旬の野菜を使った一品が楽しみ」と評判になっています。

今後女性委員の得意分野を活かし、地場産の消費拡大に貢献する活動を続けていきます。

京田辺市の女性農業委員(右から)山下委員、川端委員、村瀬委員

(京田辺市農業委員会) 山下明子委員、村瀬梓委員、川端美恵委員

京都

京都府支局 京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 府庁西別館内 075・441・3660